

湯りどころめぐり

番外編

2009年6月1日より、「ぬかびら源泉郷」とその地名を変更した糠平温泉。丁度その日、ぬかびら源泉郷では、ある全国的なイベントが開催されるとの情報が。今回は温泉巡りをお休みして、急遽そのイベントに潜入してきました。

心をひとつに。 ぬかびら源泉郷誕生の日

5月31日(日)、6月1日(月)の2日間、同日「ぬかびら源泉郷」とその地名を変えた糠平温泉街にて、全国源泉かけ流しサミットが開催されました。今年で5回目を迎えるこのサミット。

”本物の温泉”を機軸として、本物のサービスの提供、地域の魅力発信・発掘を目指す、全国の温泉地が共に学びと親交を深めていくことを目指すものです。

平成17年に奈良県十津川温泉で第1回目のサミットが開催されてから、その後北海道川湯温泉、大分県長湯温泉、長野県野沢温泉と続き、今回、平成19年に「源泉かけ流し宣言」を発表したぬかびら源泉郷が、宣言後わずか1年ほどで開催地候補として選出されました。

全国各地から温泉・観光関係者が集まった会場では、31日には全国かけ流し連絡会総会を、1日には基調講演やパネルディスカッション、各地の事例報告などが行われ、日本で初めて温泉学



ぬかびら源泉郷「源泉かけ流し宣言」(抜粋)

- ぬかびら源泉郷では、自然から授かった温泉をお客様のものと認識し、貴重な温泉資源を末永く提供できるよう保護します。
- ぬかびら源泉郷旅館組合は、温泉資源と同じく自然環境を守り「森の温泉街作り」事業を推進させ、お客様が安心して寛げる温泉地となるよう努力します。
- ぬかびら源泉郷は未来永劫「源泉かけ流し」であり続け、正しい情報の開示をすることを誓います。

糠平のはじまり、そしてこれから

糠平温泉の歴史は今年で約90年。かつては社員旅行や修学旅行など大規模な旅行者で人気を集めていましたが、時代の変化とともに、バスと温泉と宴

を提唱した札幌国際大学教授・松田忠徳教授や、かつて湯布院のブランド化に尽力した「玉の湯」会長溝口薫平氏、観光カリスマに認定された阿寒鶴雅社長・大西雅之氏など著名人を講師・コ

2日間を通して、参加者達はこれからの温泉地のあり方について情報や意見を交換し、考え方を学び合う、密度の濃い時間を過ごしました。

参加者全員に、オリジナルバッグ&タオル&巾着のプレゼント。これを持って行くと、当日限定で、源泉郷内全ての温泉で日帰り入浴が無料に!

会場では、旅行客の心をつかめなくなっていました。気が付けば、糠平はがっかり温泉街と言われるまでに廃れてしまっていたのです。その原因は、”他人任せの温泉街作り”。このままではいけない、と従来のスタイルから脱却すべく平成19年5月に、全ての温泉で「かけ流し宣言」が発表されました。

目指すのは本物の温泉はもちろん、本物の食、本物のサービスを提供できる温泉地作り。地名を変更したのも、貴重な資源である源泉を守っていくという地域住民、温泉・旅館関係者の強い思いの表れでした。

2日間のサミットは無事終了しましたが、地元関係者の方々から感じられたのは、これがスタートだという高揚感を伴った熱い思い。本物のお湯を大切な財産としながら、より一層魅力的な温泉を目指してこれからも試行錯誤の日々が重ねられていきます。

ぬかびら源泉郷の新たな温泉地作りはまだ始まったばかりです。



昼食には、地場産野菜をたっぷり使用したお弁当が。



全旅館で扱っている、「源泉郷おやき」が振舞われました。

■パネルディスカッション 「食と自然による癒しの温泉地再生」

各地の温泉街から選出された5名によるパネルディスカッション。これまでの取り組みや感じている問題点等について意見が交されました。

100%本物の温泉街を目指すこと、背景にあるストーリーを伝えていくこと、地域が丸となって温泉地作りに取り組んでいく大切さなどの意識を確認しあう貴重な場となりました。

コーディネーター

●阿寒鶴雅社長 大西氏

パネリスト

- 十津川村観光協会 田花氏
- 野沢温泉村 森氏
- 弟子屈摩周観光協会 井出氏
- NPOひがし大雪自然ガイドセンター代表 河田氏



■基調講演①

「温泉地の未来形」札幌国際大学 松田忠徳教授

「外国人旅行者達は、”日本の農村風景ほど美しいものはない”と言います。北海道には風景、食材、素朴さ、温泉などいろいろな要素がありますよね。是非、今あるものを自慢・自負してください。そして、やはり本物を提供しなければなりません。一刻も早く地産地消100%宣言をすべきですよ。」



■基調講演②

「地産地食による温泉地の姿を探る」湯布院 玉の湯会長 溝口薫平氏

「オンリーワンを目指していくことが大切。観光よりも街づくり。もの作りよりも、人づくり。そして旅館ありきではなく、地域ありきです。」